

2017 年次大会・総会案内

- 日時：4 月 22 日（土）13 時 30 分～16 時 45 分
- 会場：渋谷区立勤労福祉会館 2 階第 3 洋室
JR 渋谷駅下車 徒歩約 15 分
東京都渋谷区神南 1-19-8 電話：03-3462-2511
- 問合せ・連絡先：村田 淳 携帯：080-6577-6720 電話：045-401-5259
- 日程：報告

- ①金丸 哲也「非鉄資源会社から刊行された会社史」
- ②村田 淳「新聞記事から見る、錫山鉱山（鹿児島県）」
- ③会員の近況報告・課題と疑問点など
- ④募集中

総会 2016 年度運営報告・2017 年度運営計画

2015、2016 年度会計報告・2017 年度会計予算

役員選出

*なお、運営や会に対するご意見、ご希望を開催日までにお送りください。

2017 年次大会報告者の募集

年次大会は、4 月 22 日（土）午後 13 時 30 分～16 時 45 分の日程で開催します。

で報告していただける人を募集しています。テーマは、鉱山に関係するものでしたら何でも構いません。映像資料の上映でも構いません。また、会員でなくてもかまいません。所要持ち時間は、原則として、報告 20 分、質疑応答 10 分です。

時間が足りない場合は申し出てください。考慮いたします。

至急申し出てください。詳細は上記にあり。

- 問い合わせ・送り先：村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

Tel・Fax：045-401-5259 メール：sunao-murata@y8.dion.ne.jp

2016 年度運営報告

■行事回数 ①年次大会・例会 3 回 ②見学会・巡検 2 回 ③映像の会 3 回 ④海外文献の会 6 回

■刊行回数 ①「鉾山研究」1 回 (原稿募集中) ②「ニューズレター」5 回 (内臨時 2 回)

2016 年

4 月 16 日 (土) 年次大会・総会

会場：渋谷区立勤労福祉会館 参加人数：6 人

報告①金丸哲也「古書籍ボタ拾い、日本全国北から南から」

②村田 淳「ダーウィン近郊の金鉾山・オーストラリア鉾山史協会年次大会報告」

③会員の近況報告「課題と問題点」

5 月 20 日 (金) 海外文献の会 川崎市産業振興会館

6 月 23 日 (木) 海外文献の会 川崎市産業振興会館

6 月 25 日 (土) 第 44 回 映像の会 下記

7 月 7 日 (木) NL103 発行 (大会報告、映像の会・例会案内、2015 年度仮会計会報告、名簿ほか)

7 月 28 日 (木) 海外文献の会 川崎市産業振興会館

30 日 (土) 例会 (1916 年度第 1 回)

会場：渋谷区立勤労福祉会館 参加人数：2 人

村田 淳「アメリカ、コロラド州、テルライド鉾山」

9 月 10 日 (木) 海外文献の会 川崎市産業振興会館

17 日 (土) 第 45 回 映像の会 下記

10 月 6 日 (木) 海外文献の会 川崎市産業振興会館

10 月 15 日 (土) NL104 発行 会費請求

11 月 2 日 (水) NL 臨時号

10 日 (木) 海外文献の会 川崎市産業振興会館

19 日 (土) ～20 日 (日) 鉾山見学会 長登銅山・宇部炭礦 (山口県)
参加人数：3 人

12 月 10 日 (土) 第 46 回映像の会 下記

末日 会報原稿締切

2017 年

1 月 10 日 (火) NL 臨時号発行

28 日（土）例会（2016 年度第 2 回）

会場：渋谷区立勤労福祉会館 参加人数：8 人

島西 智輝「石炭生産技術の導入・革新と海外移転」

長谷川 雅康「イタリア・エルバ島の鉄山跡及び関連施設を巡って」

3 月 12 日（日）NL105 発行

3 月 18（土）～19 日（日）予定 伊豆巡検

雲見鉱山（松崎町）、須崎鉱山（下田市）桐山鉱山（湯ヶ島町）

4 月 22 日（土）年次大会・総会

6 月末 会報「鉱山研究」93 号発行（原稿募集中）

鉱山の映像を観る会 2016 年度活動報告

丸山もとこ

【活動内容】鉱山に関する映像を視聴する。

【開催回数】計 3 回：通算第 44 回、45 回、46 回

第 44 回鉱山の映像を観る会

【開催日・会場】2016 年 6 月 25 日（土）渋谷区立勤労福祉会館

【参加者】4 人

【上映内容】「マーガレット・サッチャー 鉄の女の素顔」（イギリス、2011 年、約 90 分）、映画「パレードへ、ようこそ」（イギリス、2014 年、121 分）

第 45 回鉱山の映像を観る会

【開催日・会場】2016 年 9 月 17 日（土）渋谷区立勤労福祉会館

【参加者】4 人

【上映内容】「NHK アーカイブズ：水俣病の 60 年～終わらない 戦後最大の公害病～」(NHK、2016 年 5 月 8 日放送、65 分)、「ETV 特集：水俣病 魂の声を聞く～公式確認から 60 年～」(NHK、2016 年 5 月 28 日放送、60 分)、「NNN ドキュメント：生きる、伝える “水俣の子” の 60 年」(熊本県民テレビ、2016 年 5 月 1 日放送、46 分)

第 46 回鉱山の映像を観る会

【開催日・会場】2016 年 12 月 10 日（土）渋谷区立勤労福祉会館

【参加者】4 人

【上映内容】「サイエンス ZERO 独占密着！海底に眠る巨大鉱床！」(NHK 総合、2016 年 8 月 28 日放送、約 30 分)、「須藤元気 南米ディープ道：アマゾン 欲望の金鉱山に

向かう」(NHK BS プレミアム、2015 年 7 月 25 日放送、約 15 分)、「NHK スペシャル 大アマゾン 最後の秘境 第 2 集「ガリンペイロ 黄金を求める男たち」」(NHK、2016 年 5 月 8 日放送、50 分)ほか

海外鉱山文献読書会 2016 年度活動報告

丸山もとこ

【開催回数】計 6 回:2016 年 5 月 20 日、6 月 23 日、7 月 28 日、9 月 10 日、10 月 6 日、11 月 10 日

【参加者】村田淳、斎藤和美、丸山、会員外から一名の四名

【活動内容】英語で著された鉱山文献を逐語訳で読み解く。クラーク・C・スペンス著

『British Investments and the American Mining Frontier, 1860-1901』(アイダホ大学出版会刊行、1995 年)を昨年度から引き続き読書中。

2017 年度運営計画

□行事回数 ①年次大会・例会 4 回(可能ならば 5 回) ②見学会・巡検 2 回
③映像の会 3 回 ④海外文献の会 10 回

□刊行回数 ①「鉱山研究」1 回 ②「ニューズレター」4 回

問題点:

- ①会員数の増加に努める。学生は会費を半額にする。
- ②各行事ともに参加者が少なく、内容に工夫が必要。
- ③例会や大会の報告者が少ないので、報告できるひとを積極的に探す。開催方法や報告者が申し出をしやすいようにする。
- ④巡検や見学会は、希望を募り、魅力ある鉱山を対象にする。
- ⑤各行事への非会員の参加を容易にして、その後に入会を促す。
- ⑥「鉱山研究」には、大会や例会での報告を必ず掲載する。
また非会員の原稿もできるだけ掲載し、その後入会を促す。100 号は記念号にする企画をたてる。

□会員の著作目録の HP への掲載の再提案

提案者: 村田淳

背景

一昨年に続き再度提案します。

オーストラリアの鉱山史研究会の HP には、会員の著作目録が掲載されています。会員相互の情報交換に役立ち、著書の売り上げにつながりますし、会の活動を詳細に世間に知らせることができます。

手順

①鉱山関係とその他の分野に分けてA、B、Cの3項目とし、発表年次順に並べる。ただし「金属鉱山研究」と「鉱山研究」に掲載分は前者の後部にその旨を表示。研究のバックナンバーに掲載することにして重複はさける。

②そのため研究のバックナンバーを整備する。

③名簿の掲載に合わせて自己申告してもらう。メールで原稿を送ってください。

④皆様の賛同があれば目録を提供してくれた会員のものから順次掲載する。

⑤その場合、書名 発行所 頁数 発行・発表年月 購入可能な時は定価 内容を100字程度で紹介（B、C分野は省略）

*実例は、NL99を参照

例会報告者の募集

例会で報告していただける方を募集しています。

例会の報告の持ち時間は、研究大会が報告20分質疑応答10分に比べ、報告約1時間、質疑応答30分と十分に時間があり、じっくりとまとまった報告が可能です。

テーマは鉱山に関係があるものであればかまいません。金属鉱山、石炭鉱山、経済史、民俗、労働史、労働運動、あるいは鉱物、鉱床など様々な分野からの報告が会員の研究に役立つでしょう。

報告は非会員でもかまいません。報告してほしいテーマや人物があれば、お知らせください。

*問い合わせ、申し込みあるいは情報などを、村田淳あるいは役員に。

『鉱山研究』原稿募集

『鉱山研究』に掲載する原稿を募集します。内容は鉱山に関係するものであれば、分野を問いません。

できればメールで完成原稿（著者校正無し）を村田にお送りください。完成原稿でない場合は村田に連絡をください。その場合、原則として入力料金がかかります。なお採否は、編集担当が審査させていただきます。

また原稿1本につき原則として見出し、図版を含めて10ページ以内（1頁1638字×10頁）で、字数は全て文字数に換算すると1,6380字以内です。

ただし、長いものは必要があれば数回にわけて掲載することも可能です。

■締切：2017年4月末日、『鉱山研究』93号は2017年6月末に発行の予定です。

■問い合わせ・送り先：村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台41-22

当会ホームページをぜひご活用ください

丸山もとこ

当会はネット上にホームページを開設しています（アドレスは下記参照）。ここでは、ニューズレター・会誌、例会・大会、見学会・巡検、映像の会、読書会などの最新情報を掲載しています。さらに「情報交換 BBS」では、当会以外の鉱山関連のイベント（企画展、シンポジウム、講演会、新刊本、ツアーなど）の情報を紹介しています（アドレスは下記参照）。逆に、個々の会員が「情報交換 BBS」を使って情報発信したり、記事にコメントをつけたりすることも可能です。情報（但し鉱山関連に限る）を発信したい方、記事にコメントをつけたい方は、下記連絡先までご連絡ください。

記事の投稿方法についてお教えします。あるいは投稿したい内容をメールで下記連絡先までお送りいただければ、管理人が代わりに投稿することも可能です。

ぜひ当会ホームページをご活用ください。

【鉱山研究会ホームページ】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/>

【情報交換 BBS】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/member/>

【連絡先】 jmrs.hp@gmail.com

入会案内

「鉱山研究会」は、1973 年 11 月に創立した、国内外の鉱山および炭礦と鉱山に係る事柄の歴史や現状についての研究を目的とする団体です。会報『鉱山研究』や『ニューズレター』の発行、研究大会、例会、鉱山の映像の会、読書会や鉱山地域の巡検や見学などを行っています。

入会資格は特にありません。分野を問わず鉱山に興味がある人でしただれでも歓迎します。入会希望者は、以下の宛先に入会を希望することを連絡してから、入会金なしで年会費（2016 年度 6000 円）を送金してください。

振替口座 00250-9-137795 鉱山研究会

連絡先：村田 淳 221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

phone/fax: (045) 401-5259 e-mail : sunao-murata@y8.dion.ne.jp